

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	精神看護学特講 I Advanced Psychiatric and Mental Health Nursing I			担当 教員	安藤幸子（専任） 植本雅治（専任）	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目	授業形態	ゼミ	
選択必修	必須	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>精神力動論、自我発達理論、脳科学、セルフケア看護理論など対象理解や精神看護に関連する理論、概念の理解を深め、専門看護師として優れた実践を行うための理論的基盤を養う。また患者・家族の視点から病や生活を理解し、対象理解、コミュニケーション、看護のあり方について検討する。</p> <p>精神看護専門看護師の役割と機能を理解すると共に、精神情緒状態アセスメント、DSM-IV-TRを用いた疾患の評価、生活状況の評価を総合的に行なう能力を習得する。</p>						
授業のキーワード		精神力動論、自我発達理論、脳科学、精神情緒状態アセスメント、セルフケアアセスメント						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1～2回	精神力動論の理解と看護への適用							
第3回	自我発達理論の理解と看護への適用							
第4回	乳幼児の心理的発達（マラー）の理解と看護への適用							
第5～6回	脳の構造と機能の理解							
第7～8回	精神疾患を抱える対象者と家族の経験 患者や家族の手記などの書物を通して対象理解を深めるとともに看護援助のあり方を検討する。							
第9回	オレム、アンダーウッド理論とペプロウの対人関係理論の理解							
第10回	医学モデル、生活モデル、看護モデル（セルフケア看護理論）の比較検討							
第11回	精神看護専門看護師の役割と機能の理解							
第12回	精神情緒状態アセスメントの方法（演習を含む）							
第13回	心理社会的アセスメントの方法（演習を含む）							
第14回	DSM-IV-TRの理解とDSM-IV-TRを用いた疾患の評価							
第15回	セルフケア看護理論を用いたセルフケアアセスメントの方法 （事例を用いた演習）							
テキスト	なし							
参考文献	授業中に提示します。							
成績評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション、演習（80%）、課題レポート（20%）							
教員から学生へのメッセージ	授業は主にプレゼンテーションとディスカッションで進めていきます。また過去に臨床で受け持っていた患者さんの事例を用いた演習、ビデオを用いた演習も行います。							